

今年も県民の暮らし・福祉第一、災害に強い広島県をつくるために力を尽くします。どうかよろしく願います。

今年も県民の暮らし・福祉第一、災害に強い広島県をつくるために力を尽くします。どうかよろしく願います。

今年も県民と野党の共闘を大きく発展させ、安倍政治にかわる新しい政治、野党連合政権に道を切り開く年にしようではありませんか。

また、消費税を緊急に5%に減税し、社会保障の充実・暮らし応援の希望ある政治に切りかえていくために、一緒に力を合わせましょう。

新しい年が明けました。政治の激動を予感しています。みなさん、いかがお過ごしでしょうか。



日本共産党県議会議員 辻つねお

広島高速5号線 200億→347億円

総額1,471億円に

決算特別委員会

## 不適切な契約に2号線連結で大增額

### 逆立ち県政を変えよう！

決算特別委員会（2019年10・11月）が総務・危機管理・商工労働・土木建設・教育・農林・公安などの分野で8回開かれ、辻議員は毎回質問。11月22日の最終日（総括審査）に、大型道路建設にまい進する県政を批判し、「子ども医療費助成や少人数学級の拡充など、住民福祉の拡充をはかる県政運営が求められている」と、決算認定に反対しました。

### 山二葉トンネル 事業費87億円増額 公社・JV、不適切な契約

広島高速5号線・二葉山トンネルの事業費増額問題で、辻議員は200億円で契約した工事費が

### 13年前の事業復活させ、2号線と連結

さらに、採算がとれないとの理由で、13年前に凍結された高速2号線と連結する事業を復活させ、総額1471億円（1・3倍）に膨らませました。



事業費増額反対の宣伝に参加＝12月16日、県議会前

### 子ども医療費 中学3年生をめざし 段階的に引き上げよ

15年間、就学前で据え置かれていた子ども医療費助成制度の昨年の決算額は16億7300万円です。一般会計予算に占める割合は0・18%です。群馬県の同事業の一般会計に占める割合は0・52%で、広島県で同率を支持すれば高校卒業まで拡充できることが質疑で分かり、辻議員は「中学3年生までめざし、段階的に対象年齢の引き上げを」と要望。湯崎知事は「持続可能な制度運用が必要」と従来と同じ答弁でした。

### 少人数学級 22億円追加で、中学3年生まで拡充

少人数学級は、広島県は熊本県・大阪府と並んで全国最低の小学2年生までです。22億円の追加で中学3年生まで拡充できることが分かり、辻議員は「全県の子どもの教育を充実させるために、中学3年生まで拡充を」と要望。教育長は「国の措置なしには困難」と拡充に背を向けました。

### ●中山間地域対策の強化を！ 県職員を駐在させよ 10月16日

辻議員は「中山間地域の課題は深刻だ」と、高知県の県域を7ブロックに分け、64人の県職員を地域に駐在する「地域支援企画員」制度を紹介。「住民が主体となり、市町と県職員が一緒に汗を流すこのような制度を導入してはどうか」と要望。担当課長は「高知のような制度は、ニーズが出てきたら考えます」と答えました。

### ●中小企業振興費の予算を大幅に増やせ 10月17日

昨年度の中小企業振興費（預託制度運用費を除く）は、40億4706万円で県内の中小企業数8万2962社で割ると、一社当たり約4万9千円しかありません。辻議員は「一昨年できた中小企業・小規模企業振興条例に基づき、予算を大幅に増やし対策を強化すべきだ」と主張。担当課長は「中小企業者のご意見を聞き、検討する」と答えました。

**無料法律相談**  
毎月第4金曜日 午後6時30分～  
辻つねお県議に  
事前にご連絡ください  
☎ 090-3632-7388  
生活相談はいつでもご連絡ください

**辻つねお 日本共産党**  
県議会ニュース  
2020年1月29日 No. 69  
発行 辻つねお県議事務所  
福山市東町2-3-23  
県庁・議会控室 TEL 082(228)6577  
082(223)2034  
ホームページ <http://kyodo-support.com/tuji/>  
Eメール [ttsuji@gikai.pref.hiroshima.jp](mailto:ttsuji@gikai.pref.hiroshima.jp)  
辻県議携帯電話 090-3632-7388

県政についての  
ご意見・ご要望をお寄せ下さい





## 要求実現にがんばっています

この間、委員会で取上げた主な質問項目を紹介します。詳しくはホームページをご覧ください。

### ■ 国保県単位化で15市町が保険料不足

生活福祉保健委員会（10月18日）

国保県単位化の初年度（2018年度）のまとめが出され、県が示した保険料必要額に対し、収納実績額が下回った市町が15もあったことが判明しました。

福山市は4億円不足し、財政調整基金の取り崩しと前年度繰越金で補てんしており、辻議員は「基金が枯渇したら、高額な国保料がさらに引き上げとなる。国に1兆円の国費投入を求めるべきだ」と主張しました。

### ■ 保育士確保のため、賃金・家賃の助成を

生活福祉保健委員会（12月12日）

2017年、県が算出した不足保育士数（必要数－就業数）は1030人。辻議員は「広島市内のある保育園はハローワークに求人をかけても3年で1人しか応募が無く、保育士の取り合いになっている」「他県で実施している賃金や家賃の助成を検討すべきだ」と要望。担当課長は「金銭よりも長く働いてもらえる施策に注力している」と答えました。

### ■ 津波・高潮対策の推進を

創造的復興・県土強靱化対策特別委員会（12月3日）

県の海岸事業予算は13億2300万円と、ピーク時105億円の1/8に激減。高潮（津波）防護達成人口率が62.6%（25万1000人）にとどまっています。

辻議員は「予算を増やして、県民の生命・財産を守る



福山市の浸水想定地域の現地調査  
=2019年8月27日

ことが必要だ」と要求。さらに、現地調査において、福山港海岸一文字地区のポートパークの入り口付近の堤防が断ち切られた状況になっており、「可動式堤防の設置が必要」と要求しました。

## 県立高校のタブレット 全額公費で

新日本婦人の会は12月13日、県立高校の生徒に一人一台ずつ、タブレット端末（ノート型パソコンでも可）を持たせることについて、「全額公費負担すべき」との要望をしました。辻議員が同席しました。

参加者は「一台6～7万円の負担に、中学生の保護者から不安や疑問の声が上がっている。保護者負担は全国でもまれで受け入れられない」と訴えました。



## 副食費徴収の負担、保育士不足対策など懇談



広島県保育団体連絡会は12月11日、保育無料化に伴う副食費の徴収の負担や保育士不足などの問題で、安心保育推進課と懇談しました。辻議員が同席しました。

「副食費の徴収が園の仕事になり、振込料を園負担にして引き落としにしたが、負担額が大きい」「保育士不足が更に深刻になり60代、70代の臨時職員も取り合いになっている」などの実態が出されました。



署名を渡す尾野会長（右）、受け取る中本議長（中央）。左が辻議員=12月10日、県議会

「広島県ゆきことといった教育をすすめる会」（尾野展昭会長）は二つの請願署名を提出しました。少人数学級拡充などを求める署名50000筆、公私間格差是正などを求める署名12577筆です。辻議員が紹介議員になりました。

12月  
県議会

請願  
「少人数学級拡充」  
「公私間格差是正  
すすめよう」

## 旧陸軍被服支廠は全棟保存を 貴重な被爆建物



被爆建物「旧陸軍被服支廠」について、県は12月4日の県議会総務委員会で、県が所有する3棟のうち2棟を解体する方針を示しました。

2017年度に県が実施した調査では、震度6強規模の大地震が発生すれば、建物が倒壊する危険性が高いことが判明。爆心地に最も近い1号

棟のみ、屋根・壁面の補強改修をした上での外観保存、あとの2棟は解体との県の方針を受け、広島県原水協と県被団協（佐久間邦彦理事長）、原爆遺跡保存運動懇談会は16日県庁を訪れ、同支廠の全棟すべてを保存活用するよう要請しました。辻議員が同席しました。

## 米軍機の危険運転、飛行停止せよ

辻議員と大平喜信前衆院議員は11月18日、米軍パイロットの危険運転、墜落事故に抗議し、申入れを行いました。県国際課長が対応しました。

2018年12月、高知県沖で米海兵隊岩国基地所属のF A 18戦闘攻撃機が別部隊の給油機と接触・墜落した事故が発生。調査報告書によると、パイロットの手放し操縦や飛行中の読書、自撮りなどが横行していたことが明らかになり、衝撃が広がっています。

辻議員は、「言語道断な事態だ。米軍機の飛行停止をアメリカ政府に要望すべきだ」と強調しました。



### ● 授業に穴が空く事態 対策を急げ

10月29日

決算特別委員会

オモテ面からの続き

昨年度、病気休暇で2週間以上代員教員が配置できなかった件数は、小学校69件（最大は竹原市・177日）。中学校は40件（最大は呉市・124日）でした。

辻議員は「このような深刻な事態が10年前から続いている。改善計画が出されているが、更に予算も増やし対策強化が必要」と求めました。



### ● 早急に信号機を設置し 横断歩道の整備をすすめよ

11月11日

信号機の新設予算は20年前の1億8000万円から4500万円と1/4に激減。昨年度の信号機設置数は8基（要望数350件）にとどまっています。

辻議員は「予算を増やして、必要な箇所には早急に信号機と横断歩道を設置せよ」と要望しました。